

英国学

日本人が近代化のモデルにした英国—その社会と文化—

講座内容

日本人にとっての近代は英国をモデルにしての近代化でもあった。本講座では、そうした視点に立脚して、英国人が日本について理解を示した契機と、日本人が英国文化を通して学んだ文化的諸事項を取り上げる中で、日本人にとっての一つの英国の文化と社会を考える。

期 間	5月9日～6月27日	受講料	10,000円
曜 日	木曜日	定 員	30名
時 間	13:30～15:30	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全8回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が毎回レジュメやプリントを用意します。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容	担当講師
1	5月 9日 (木)	日英異文化理解のはじまり：文久遣欧使節団のロンドン万博 —英国での日本文化への関心の高まりがジャポニズムの契機に—	小林 照夫
2	5月16日 (木)	万博会場隣接地の王立園芸協会のガーデンではじまったグレートスプリングショー —その後毎年開催される協会のフラワーショーが英国庭園文化の普及に貢献—	村田 幸子
3	5月23日 (木)	万博が「世界の工場・英国」を国際社会に PR —その構造を支えた一つに鉄道による輸送革命とツアーリズム—	小林 照夫
4	5月30日 (木)	鉄道時代の到来とステーション・ホテル —インは駅馬車時代のステイジステーション—	小林 照夫
5	6月 6日 (木)	英国人の生活文化の向上とコーヒーハウス —コーヒーハウスが「ペニー大学」(Penny Universities) と称された時代も—	小林 照夫
6	6月13日 (木)	貴族のご婦人の間ではじまった紅茶文化が労働者の日常生活に —リプトン等がセイロンで大規模茶園経営を、セイロンティーが世界に—	Jagath Ramanayake 小林 照夫
7	6月20日 (木)	紅茶の国・英国と紅茶文化 —若者が「紅茶離れ」という話も耳にするが—	小林 照夫
8	6月27日 (木)	パブ文化と言えば英国 —public house を語源とするパブにも盛衰史が—	小林 照夫

講師紹介



小林 照夫(こばやし てるお)

本学名誉教授

博士(社会学)、本講座に関連した著書として、『一冊でわかるイギリス史』(河出書房新書)、『スコットランドの社会と風土』(春風社)を掲載しました。その他の小林の著書に関しては、ウィキペディア小林照夫を参照ください。



村田 幸子(むらた さちこ)

英国・花文化研究家

フラワーデザインスクール運営。花産業アドバイザー。大学社会人講座講師を経て、現在、英国花文化を研究中。著書『ガーデニングビジネスの手引』(同友館)、編著『設計から楽しむガーデンデザイン入門』(農山村文化協会)。



Jagath Ramanayake(ジャガット ラマナヤケ)

RamaDBK Ltd.(ラマデービーケ株式会社) 社長

スリランカの留学生として関東学院大学を卒業。日本スリランカビジネス協議会会長、日本中古自動車輸出協会理事他。